

施策 14 多様性社会（ダイバーシティ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



めざす姿

○性別や国籍などに関わらず、多様な市民がまちづくり活動に取り組み、自分らしく豊かに暮らしています。

現状・課題

(1)ジェンダー平等の実現

本市では男女共同参画セミナーの開催により、ジェンダー平等への意識付けを行ってきました。今後は、男女が家庭、地域、職場、学校のあらゆる分野の立案から決定までの場に、対等な立場で参画する機会が確保されることが必要です。

(2)性の多様性への理解促進

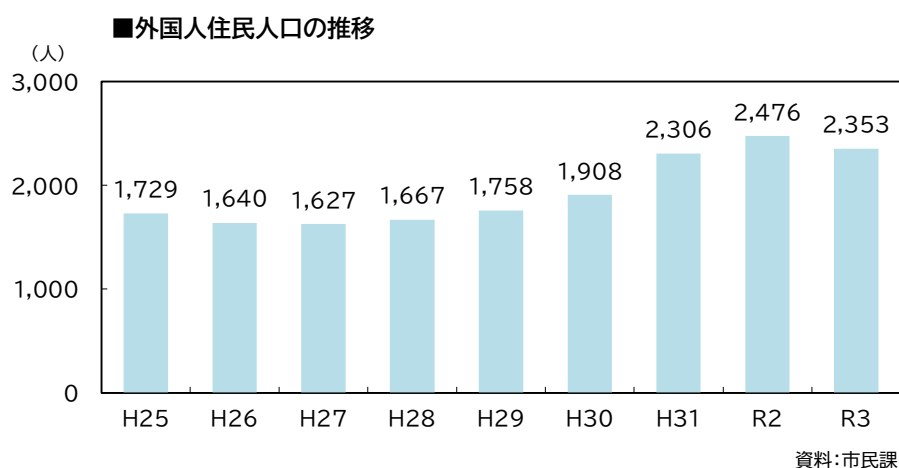
本市では、平成 28(2016)年に宣誓した「LGBTフレンドリー宣言」の取組として、性的少数者がパートナーシップ宣誓したことを市が証明する制度を令和4(2022)年度に導入しました。今後当事者への支援だけでなく、市民の理解を深める取組を継続することが必要です。

(3)国際交流・多文化共生の推進

社会のグローバル化が進むなか、国際交流の推進や多文化共生に関する理解を深めることの重要性が高まっています。市民の国際感覚や異文化を理解し尊重する意識を醸成することが必要です。

(4)外国人住民の増加、多国籍化

言語や文化の違いにより、在住外国人は日常生活の様々な場面で困難を感じています。特に災害などの緊急時において、在住外国人に対する避難のサポートは課題となっており、情報伝達手段の確立が必要です。



成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
ダイバーシティの満足度(アンケート結果)	90.5% (2022)	UP
各種委員会等への女性登用率(各種審議会・委員会への女性登用率)	23.3% (2022)	35.0%
男女の地位が平等であると感じる割合(アンケート結果)	15.4% (2021)	45.0%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	市民のジェンダー平等への理解を促進します。		男女共同参画セミナーの開催 男女共同参画意識の啓発 ◇ 政策・意思決定の場における女性登用の推進
	性の多様性を重視する社会を目指します。	● ● ●	LGBT理解に対する啓発 出前講座やセミナーの開催 ◇ 性的少数者及びアライを対象とした交流会の開催 ◇ パートナーシップ宣誓制度の運用
	日本人と外国人との交流機会の充実を図ります。		国際理解の啓発 国際交流協会の活動支援
	在住外国人に対し、生活上のサポートを行います。	● ●	ブラジル人相談員の配置 広報せきの翻訳 多言語通訳サービスの導入 ◇ 緊急時(災害・コロナ禍)における在住外国人及び雇用企業への情報伝達 ◇ 多言語や「やさしい日本語」による情報発信

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



ダイバーシティ SEKI シンポジウム

関連計画

○第3次せき男女共同参画まちづくりプラン(2019～2028)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7